

令和6年度 第8回 朝日丘地域会議 会議録

■日 時 令和6年12月12日(木) 午後6時30分～8時00分

■場 所 朝日丘交流館 2階 21会議室

■出席者 <委 員> 春日井 輝政 日高 博憲 北村 親樹
都築 正孝 永田 達也 縄村 恵子
日高 克二 深井 弘司 山本 チエ子
永山 哲 塩谷 耕一
<欠席者> 大岩 高也 北垣 啓子 鈴村 哲也
<事務局> 杉浦 智文(挙母事務所長) 塚田 征弘(地域支援課 担当長)
田中 和香(地域支援課 書記)

- 次 第
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 地域課題について
 - (1) 課題の選定(意見交換)
 - (2) グループワーク

■議 事(要約)

3 地域課題について

(1) 課題の選定(意見交換)

防災、移動支援の2つの課題について、どちらの課題を先に取り組むか、また並行して取り組むか、各委員の意見を発表したところ、防災を先に取り組むことで決定した。昨年度まで取り組んでいた事業だったが、防災に対する当事者意識が低く、いまだに浸透していない、また地域内でのつながり(連携)がないことが理由としてあげられた。

(2) グループワーク

防災の課題に対して、①目指す姿(5年、10年後にどのような姿になってほしいか)②解決策(課題を解決するために何ができるか)について、2グループに分かれ話し合いをした。

OAグループ

<目指す姿>

朝日丘地域のすべての人(お年寄りや子ども、外国の方)が安心安全に災害に備えることができる。

<解決策>

- ・防災意識を向上させる。
- ・発災したときに、どういった対応をとるのか、何をしたらいいか、行動を伴って知る。
- ・確保するものの把握。
 - ・広い場所(災害時は車で移動不可)→がれき等を取り除くことも必要
 - 道路の確保ができる人等有資格者のリストの作成
- ・住民同士の助け合いや、自助の努力、防災活動の継続的な取り組みなども必要。

OBグループ

＜目指す姿＞ 各家庭で、備蓄をしている人の割合を上げる（８０％）

＜解決策＞

- ・発災時の共助のためにも、自治区内や防災組織で有識者のリストを作成、把握する。
- ・発災時の状況を考えたうえで、朝日丘中学校避難所レイアウトの修正、更新をする。
- ・テントや、その他防災の備蓄品を、自主防災団体、各家庭でも持つ。

次回の会議では、今回のグループワークで出た、目指す姿や解決策について、深掘りをしていき、具体的に協議をしていく。

（終了）